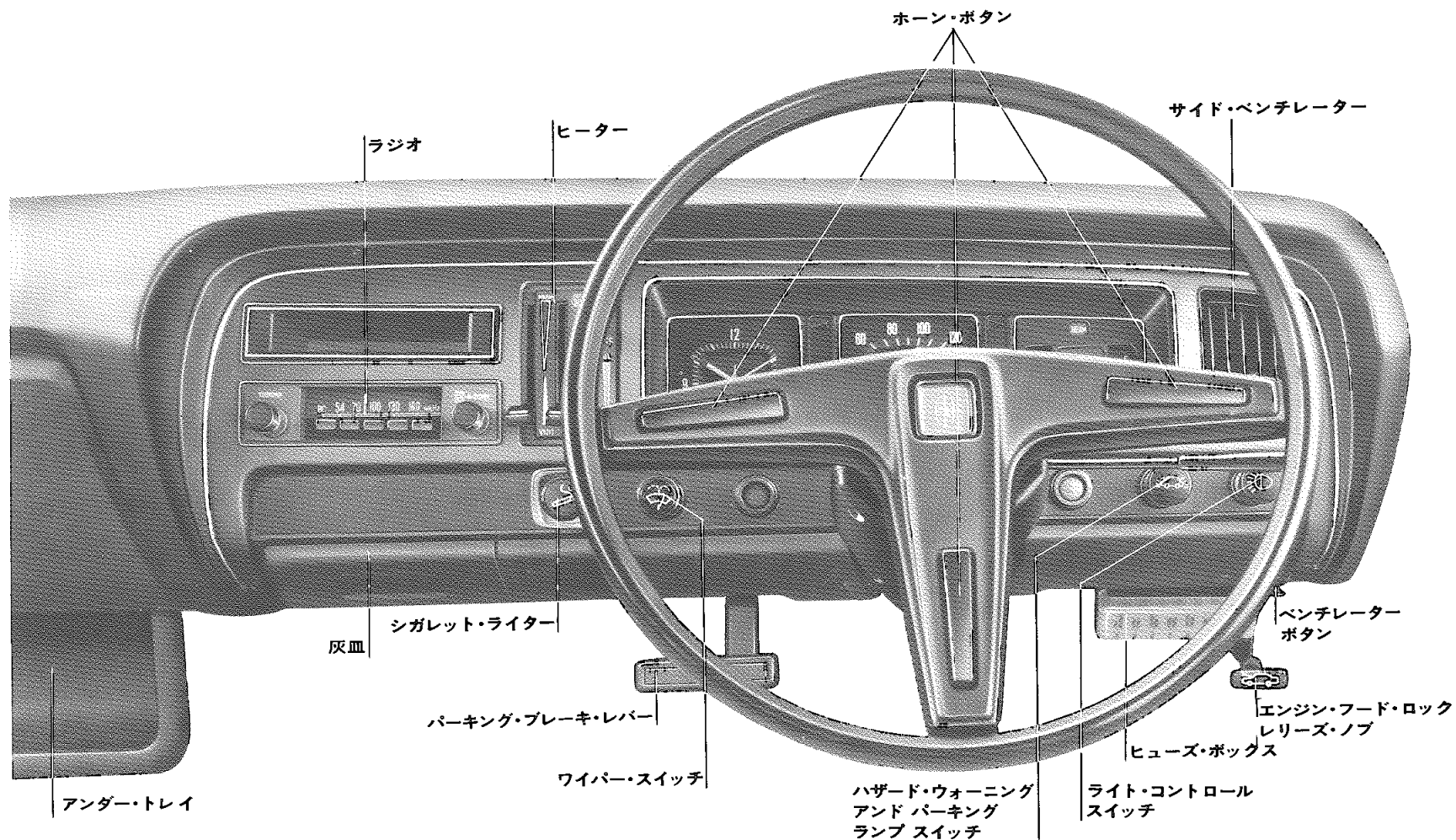




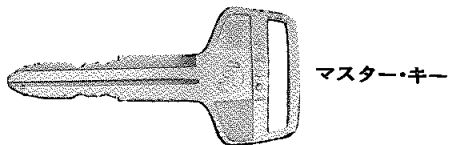
装備の知識について



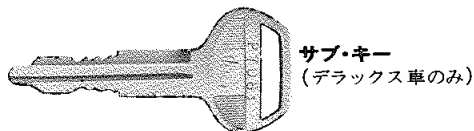


ご乗車の前に

■キーの確認をしましょう



すべてのキー・シリンダーに使用



グローブ・ボックス以外のキー・シリンダに使用

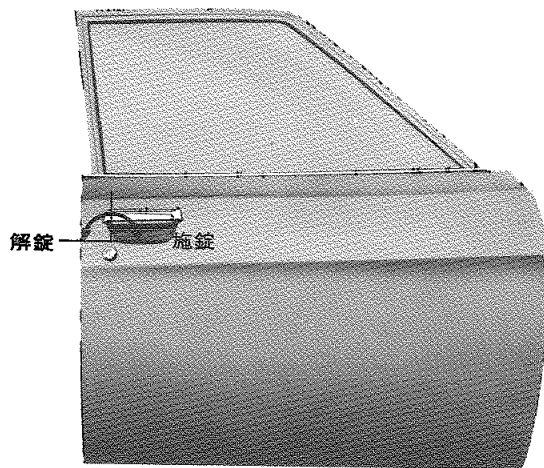
キー・ナンバーをひかえておきましょう。

デラックス車にはサブ・キーがついています。

サブ・キーはグローブ・ボックスに貴重品を入れたままキーをつけて車を預けるときのなどにお使いください。

万一、キーを紛失されたときは、取り扱い店にご相談ください。

■ドアについて



■ドアを開けるときは

外側から……

ドア・アウトサイド・ハンドルを持ち上げます。

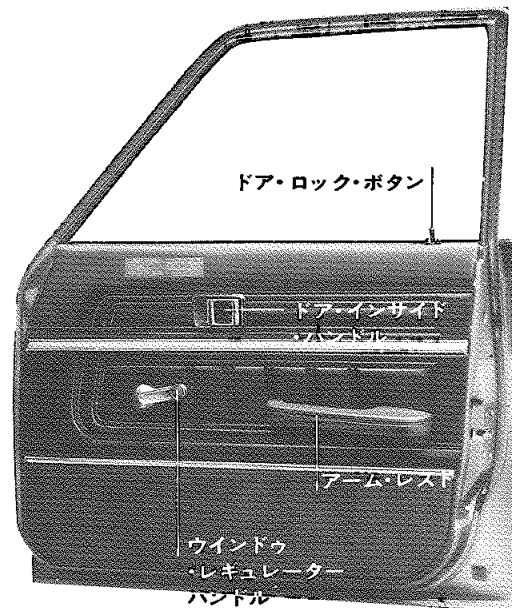
内側から……

ドア・インサイド・レバーを手前にひきます。

〈注意〉

必ず後方確認をしましょう。

いきなりあけると後続車にぶつかり危険です。



ドアを閉じるときは

シートにすわったらドアを確実にしめましょう。

〈注意〉

確実にしめてドア・ロックをしましょう。

半ドアの状態では、運転中ドアの開く恐れがあり危険です。

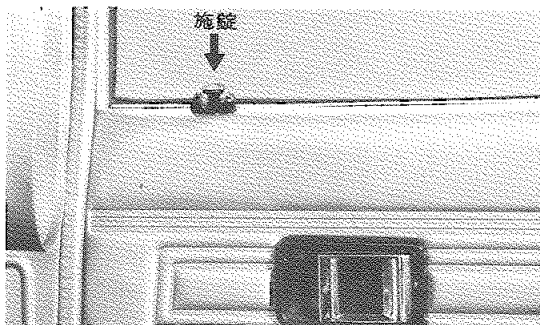
ドアをロックするときは

車外からキーを使用するとき

前頁のドアの写真参照

車外からキーを使用しないとき

[フロント・ドア]

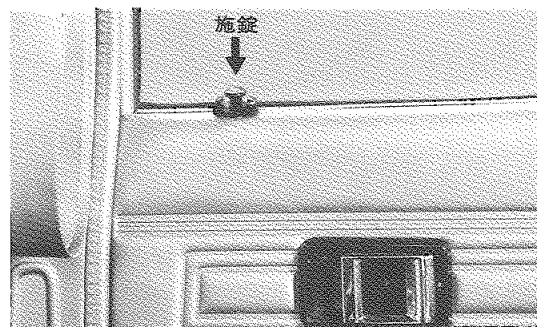


[リヤ・ドア]

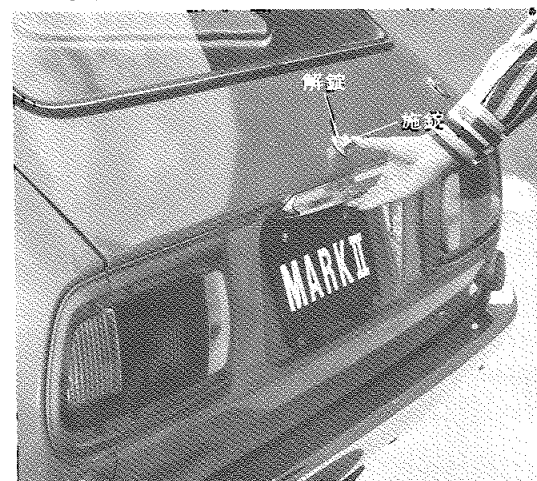
ロック・ボタンを押し下げ、そのままドアをしめる。

この時、キーを車内に置き忘れないようにご注意ください。

車内からロックするとき



■バック・ドア

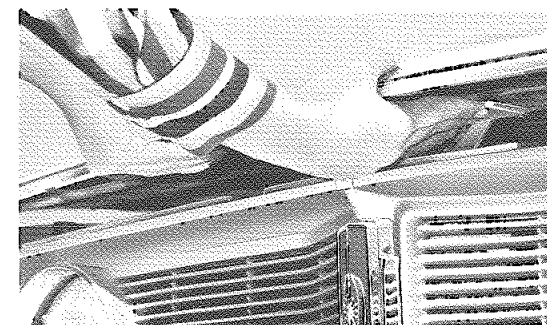


プッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

バック・ドアを開くとバック・ドア・ランプが点きます。

閉じるときは、バック・ドアをそのまま下までおろし、上から手で押さえつけます。

■エンジン・フードをあけるには



①インストルメント・パネル右下のノブをひき出します。

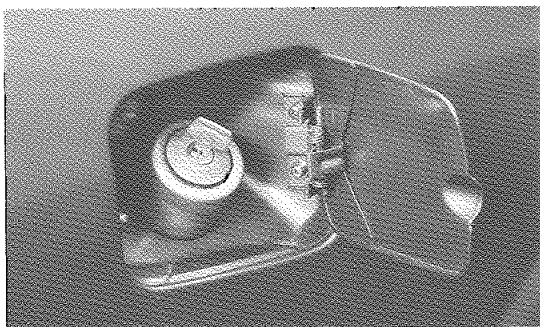
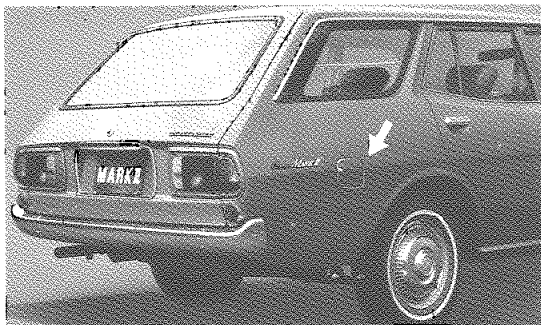
②エンジン・フード下のすき間に手を入れセフティ・ラッチを上げエンジン・フードをいっぱい開けます。

③閉じるときは、フードの前端を押えつけてロックします。

<注意>

フードが一段だけロックした半じまりの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

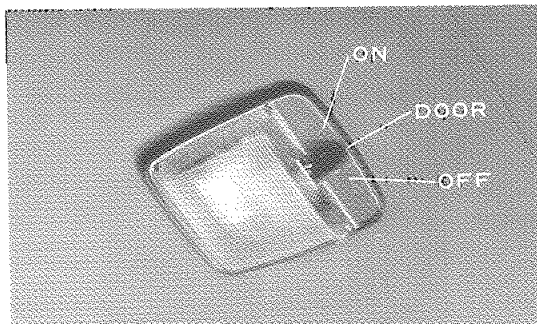


補給口は、右リヤ・フェンダー部にあります。

使用ガソリン…………レギュラー

キャップにはロックがついています。キーをOFFにしてから取りはずします。(除くスタンダード車)

■ルーム・ランプとドアの関係は



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- O N…………ドアの開閉に関係なく点灯
- D O O R…………ドアを開いたときのみ点灯
- O F F…………ドアの開閉に関係なく消灯

正しいドライビング ポジション

■シートの位置を調整しましょう。

フロント・シート



前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

シート・リクライニング調整

〈セパレート・シートの場合〉

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

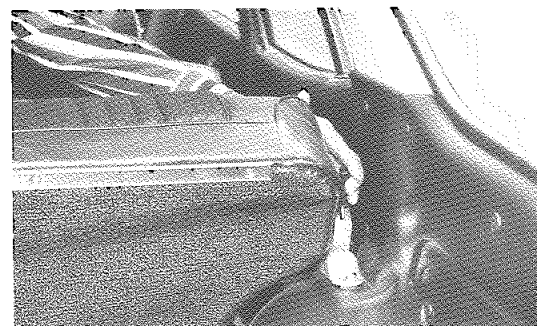
〔シートの位置調整は〕

車を運転する前に行なってください。

車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

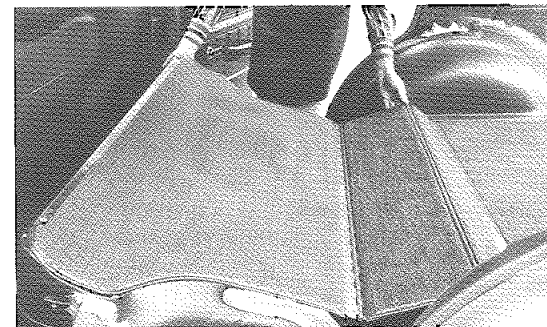
リヤ・シート



シート・バックは前に倒すことができます。

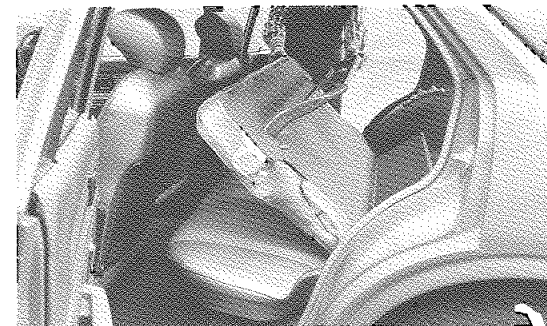
シート・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを倒します。

シート・バックを起こすときは、中央のパネルを持ちあげて起こします。



シート・バックを後に押しさえつくと自動的に固定されます。

〈セパレート・シート車〉



リヤ・シート・バックを倒すときは、シート・バックの裏のハンドルを上へ引き上げてから前に倒します。

シート・バックを倒したときは中央部のパネルを押しさえつけ固定し、つぎにハンドルをいっぱい起してください。

シート・バックを起すときは、まず中央部のパネルを起してからシート・バックを起します。

シート・バックをいっぱい起してから、ハンドルを倒し、シート・バックを押さえつけて固定します。

＜注意＞

シート・バックを起こすとき、先にハンドルを倒すとシート・バックを起こし、あと固定することができません。

■ヘッド・レストを正しい位置に



ヘッド・レストが首の後方にあたり、ヘッド・レストとの間隔が多いと万々のとき危険防止に役立ちません。

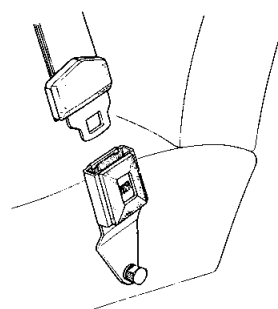
前に押さえるようにして上下させます。通常は上の位置で使用します。

■セフティ・ベルトを忘れずに

フロント・シート用は標準装備、リヤ・シート用はオプションです。

装着方法

シートを運転しやすい位置に調節しセフティ・ベルトをいっぱい引き出し、またねじれていないことを確認します。



ベルト装着の正しい位置



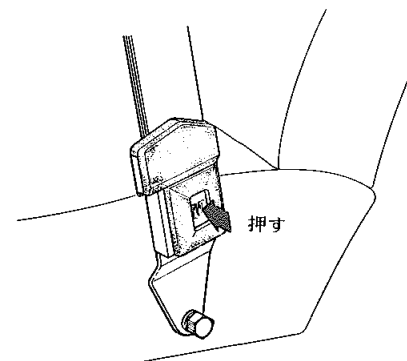
ベルトの調整

〔腰ベルト〕



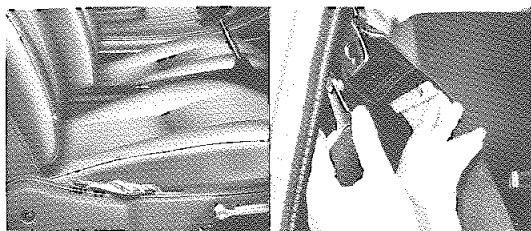
肩ベルトも腰ベルトと同じ要領で調整してください。

取りはずし



腰ベルトは、バックルをドア側へ向けて一度引き手を離せば自動的に格納されます。

ベルトの格納



■ミラーの調整をしましょう。

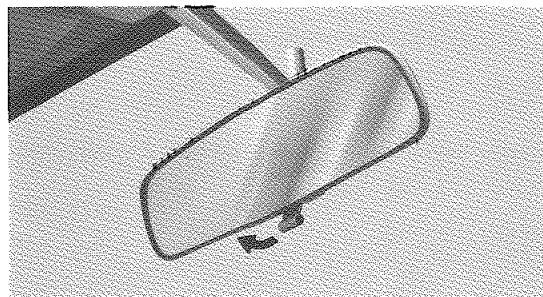
リヤ・ビュー・インサイド・ミラー

リヤ・ビュー・アウトサイド・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式リヤ・ビュー・インサイド・ミラー

<デラックス車のみ>



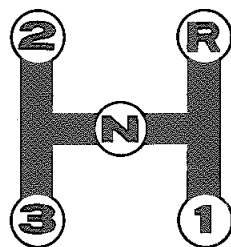
夜間走行の場合、後続車のライトがインサイド・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

ミラーの下にあるレバーを手前にひくと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認でき、安全運転ができます。

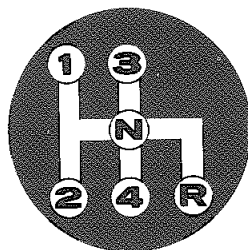
防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

シフトレバーの 各レンジの確認

■マニュアル・トランスミッション
3段コラム・シフト



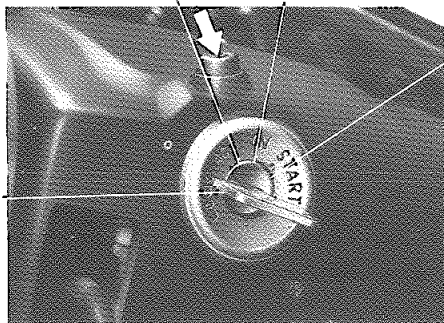
4段フロア・シフト



スイッチ、メーター類について

■エンジン・スイッチ

ACC……エンジンを止めたままラジオおよびカー・ステレオの開ける位置
 <注意>ラジオおよびカー・ステレオをつけたまま長時間放置しないでください。
 プッシュ・ボタン
 ON……エンジン運転中の位置



START……エンジンを始動する位置。
 手を離せば自動的にONにもどります。

LOCK……キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

<注意>キーを抜く時はACCまでキーをまわし、ボタンを押しながらキーをLOCK位置までまわして

キーを引き抜きます。ボタンを押さないとキーはACCからLOCKにまわすことができません。ロックがはずれないときはハンドルを左右にまわしながらエンジン・スイッチをACCの方向にまわすとはずれます。

【エンジン停止時スイッチは】

LOCKの位置にしておきましょう。

ONの位置で放置するとバッテリーあがりになります。

【スターター・モーターは】

長時間STARTの位置にしないようにしましょう。長時間作動するとバッテリーあがりになります。

【エンジンがかかっているときキーは】

STARTの位置にまわさないようにしましょう。STARTの位置にまわすとスターターが無理にかみあい破損します。

【車両から離れるときキーは】

LOCKの位置からキーを抜いてください。

キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

・キーを抜くとステアリング・ロックが働き、ステアリング操作ができなくなりますので、走行中はキーを絶対にLOCK位置までまわさないでください。

・けん引される場合は、キーを一度ON位置までまわしてステアリング・ロックを解除し、その後ACCにもどしてください。

■チョーク

キャブレターにはオートマチック・チョークがついています。

①エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏みます。

| | | |
|-------|----------|----------|
| +5℃以上 | +5℃～-10℃ | -10℃以下 |
| 軽く1回 | いっぱい1～2回 | いっぱい2～3回 |

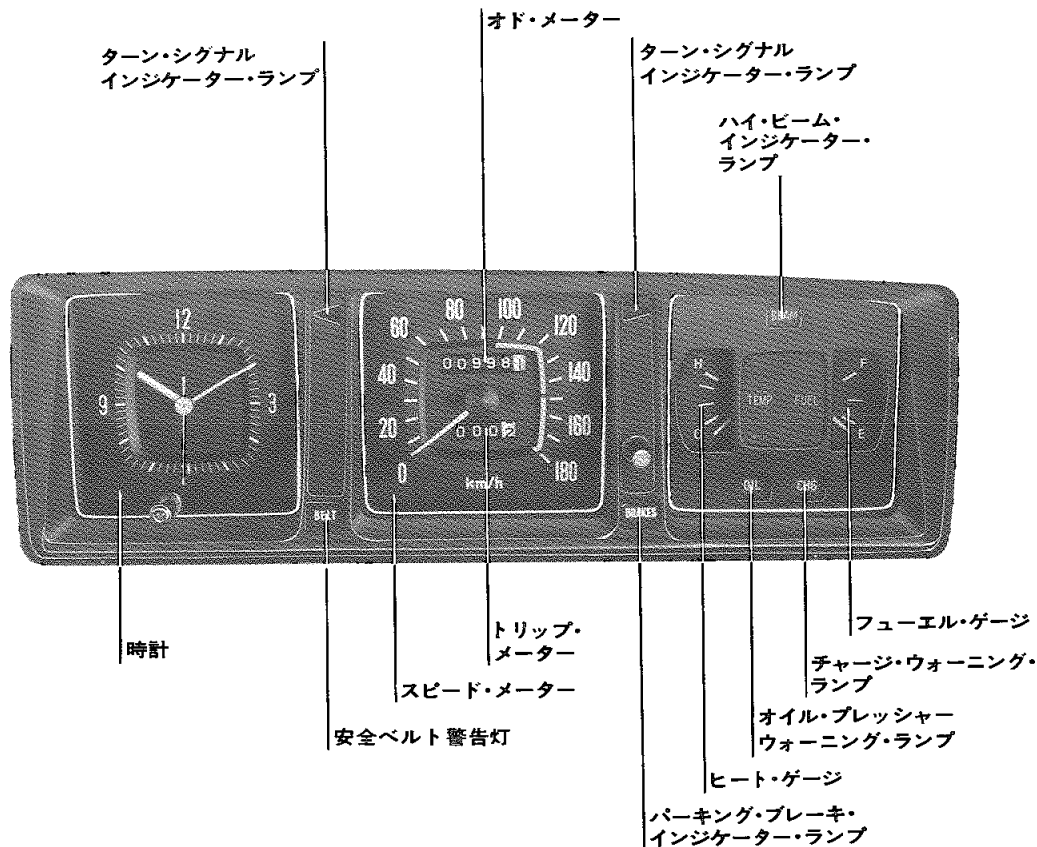
②アクセル・ペダルから足をはなしエンジンを始動します。

③しばらく暖機運転をします。

④エンジンが暖まってから再びアクセル・ペダルを踏みます。

(アクセル・ペダルを踏むと、自動チョークがもどりアイドル回転になります。)

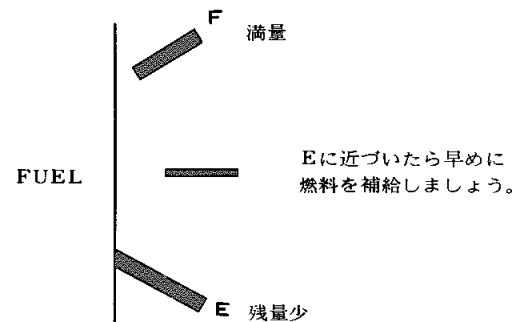
メーター類



■フューエル・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときに燃料の残量を示します。

スイッチがその他の位置のときは、指針はEより下の位置にあります。



■ヒート・ゲージ

エンジン・スイッチがONのときに冷却水温を示します。

スイッチがその他の位置のときは、指針はCより下の位置にあります。



■チャージ・ウォーニング・ランプ

エンジン運転中、充電系統に異常がある時に点灯する警告ランプです。

正常の時は、エンジン・スイッチをONにすると点灯しますが、エンジンを始動すると消灯します。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ

エンジン運転中、潤滑系統に異常がある時に点灯する警告ランプです。

エンジン・スイッチをONにすると点灯しますが、エンジンを始動すると消灯します。

点灯したままのときはオイル量を調べましょう。それでも点灯しているときはサービス工場へ

■パーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプ

エンジン・スイッチがONのときパーキング・ブレーキ・レバーを引くとパーキング・ブレーキ・インジケータ・ランプが点灯します。

■ハイ・ビーム・インジケータ・ランプ

ヘッドランプ・ホーン・インジケータ・ランプ
ヘッドランプがハイビームのとき、ハイビーム・インジケータ・ランプが点灯します。

■ターン・シグナル・インジケータ・ランプ

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケータ・ランプが点灯します。

■安全ベルト警告灯

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、点灯し、セフティ・ベルトを装着すると消灯します。

■オド・メーター

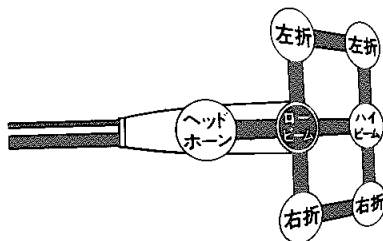
今までに走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター

ノブをまわして0にもどすことができます。

一定区間の走行距離を知りたいとき0にまわして使用します。

■ターン・シグナル・レバー



■ターン・シグナル・スイッチとして……

レバーを上にするると左折、下にするると右折のターン・シグナル・ランプが点滅します。

ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。

〈注意〉

ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

■ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

ヘッドランプのハイビームが点滅します。

高速道路などで先行車を追い越すときの合図として使います。

■ヘッドランプ切り換えスイッチとして……

夜間先行車、対向車のないときのみハイ・ビームにしてください。

〈注意〉

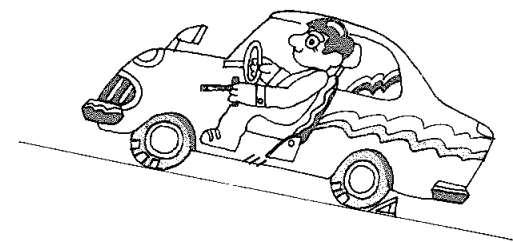
【夜間対向車または先行車のある場合】

必ずロー・ビームにして走りましょう。まぶしくて迷惑をかけます。

■パーキング・ブレーキ・レバー



駐車時、いっぱいひっぱって使用します。もどす場合は下に60°まわします。

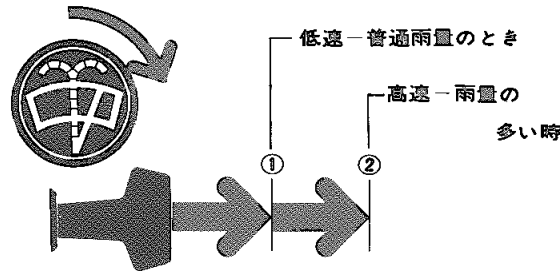


坂道での駐車はパーキング・ブレーキを引いた上で、輪止めを確実にしてください。

■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

エンジン・スイッチがONのときに使えます。

ワイパー・スイッチ



スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置まできて止まります。

ウォッシャー・スイッチ

ウインドウ・ウォッシャーはワイパーと連動式になっています。スイッチを右に回すとウォッシャー液が噴射され、同時にワイパーが数回作動し止まります。

フロント・ウインドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

【ワイパーを使用する前に】

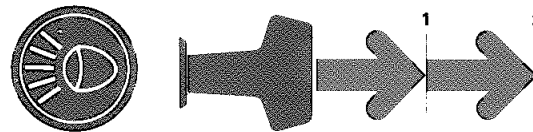
フロント・ウインドウ・ガラスの汚れをとりましょう。汚れたまま作動するとガラスに傷がつかます。

【ウインドウ・ウォッシャー液がからるときは】

スイッチをまわさないようにしましょう。

まわすとモーターをいためる恐れがあります。

■ライト・コントロール・スイッチ



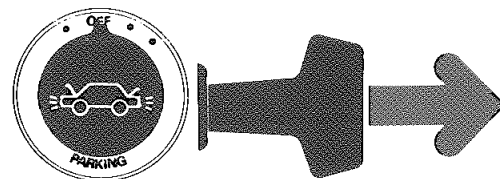
エンジン・スイッチに関係なくランプがつかます。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

| 灯 火 名 | ① | ② |
|-------------------|---|---|
| ヘッド・ランプ | | ○ |
| スモール・ランプ, テール・ランプ | ○ | ○ |
| ナンバー・プレート・ランプ | ○ | ○ |
| メーター・パイロット・ランプ | ○ | ○ |

■ハザード・ウォーニング&パーキング・スイッチ

ハザード・ウォーニング・スイッチとして



車が故障して緊急路上駐車のととき他車の追突防止のため使用します。

この時、コンビネーション・メーター内のターン・シグナル・インジケーター・ランプ(緑色)が左右とも同時に点滅します。

【ハザード・ウォーニング・スイッチは】

非常の場合以外は使わないようにしましょう。

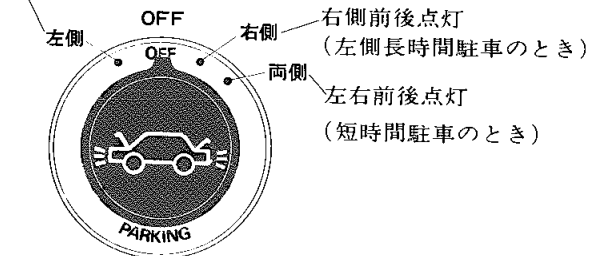
走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして

夜間路上駐車時使用します。

パーキング・ランプが点灯します。

左側前後点灯 (右側長時間駐車のととき)

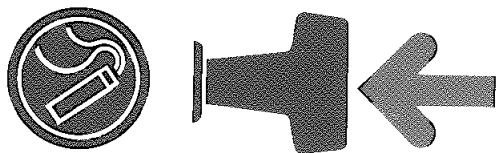


右側前後点灯 (左側長時間駐車のととき)

左右前後点灯 (短時間駐車のととき)

左、右に1段または右に2段回した位置でスイッチを引き出すことはできません。

■シガレット・ライター〈デラックス車のみ〉



シガレット・ライターは、押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちましょう。

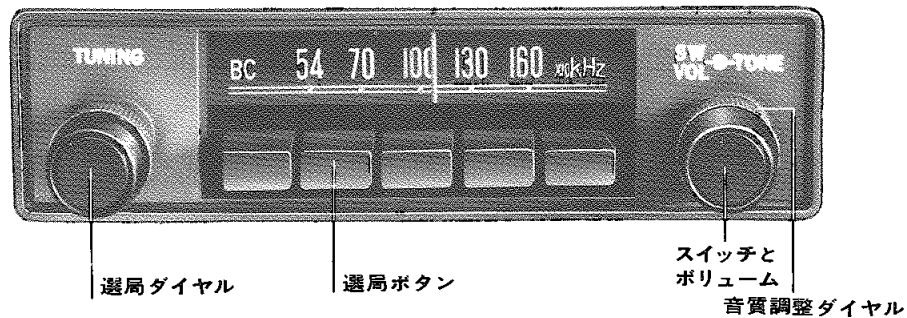
〈注意〉

押さえたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

運転を楽しく、快適に

■ラジオ<デラックス車のみ>

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。



[スイッチとアンテナ]

ラジオのスイッチを押すと、電源が入り同時にアンテナが1段とび出します。

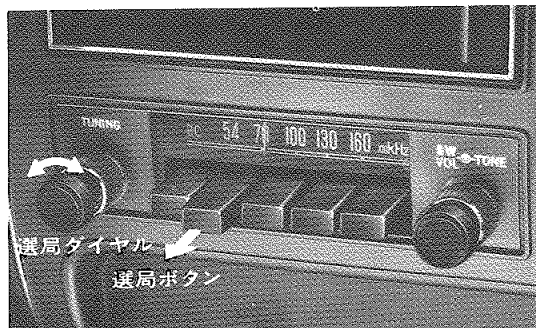
もう一度スイッチを押すと電源は切れますが、アンテナは下がりません。

アンテナは、手で長くいっぱい引っぱり出せますが、普通なら1段目で十分です。

<注意>

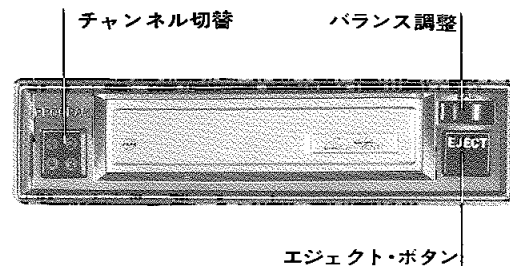
いっぱい押し込むとロックされ、再びラジオのスイッチをONにしないと飛び出しません。

[選局ボタンのセットのしかた]



1. ボタンの一つをいっぱい引き出す。
2. 左側選局ツマミで針を望みの局に合わせる。
3. 引き出したボタンをいっぱい押しこむ。

■カー・ステレオ<オプション仕様>



[演奏開始]

エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをテープ差しこみ口にまっすぐ差しこみます。

自動的にチャンネル・インジケーター・ランプがつき演奏が始まります。

[演奏停止]

EJECT ボタンを押すとテープが自動的にとび出し演奏はとまり、電源も切れます。

[チャンネル切替]

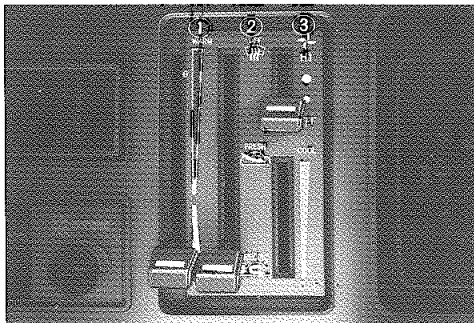
演奏中、他のチャンネルに切換えることができます。

[バランス調整]

音が左右に移動します。

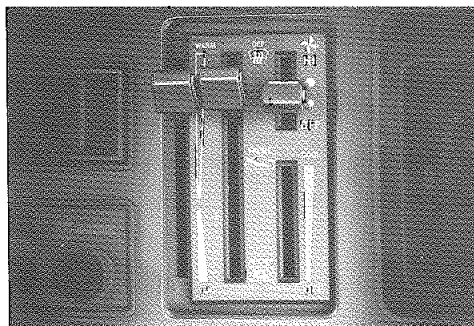
もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

■ ヒーター 〈デラックス車のみ〉

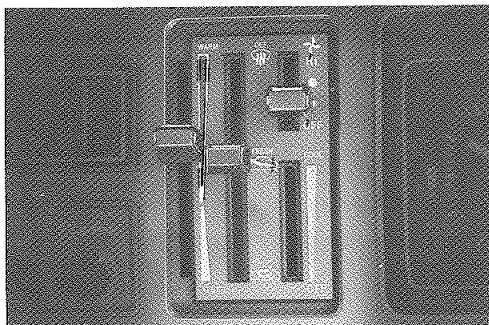


| ① 温度調整レバー | ② 内外切替レバー | ③ ファン・スイッチ |
|-----------|-------------|------------|
| WARM 室内暖房 | DEF ガラス曇りどめ | HI 強い風 |
| VENT 室内循環 | FRESH 外気導入 | ● 中間 |
| | RECIRC 内気循環 | ・ 弱い風 |
| | | OFF 停止 |

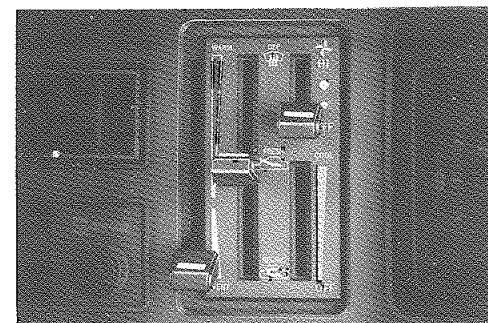
ガラスの曇りどめの操作



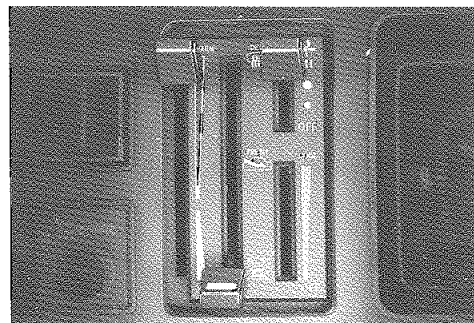
車内をゆっくり暖める操作



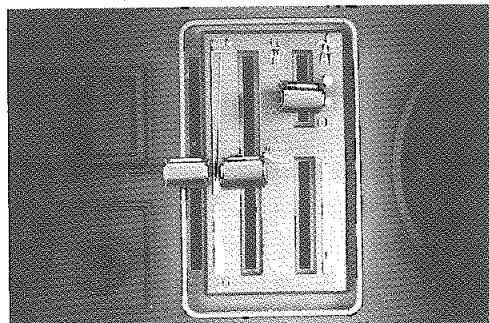
ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作



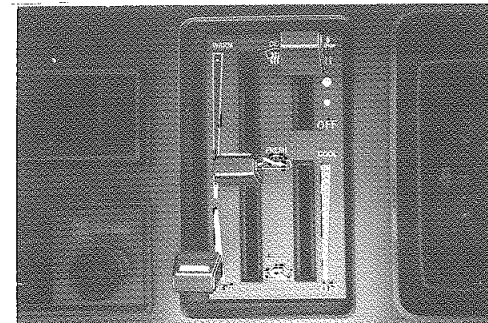
車内を早く暖める操作



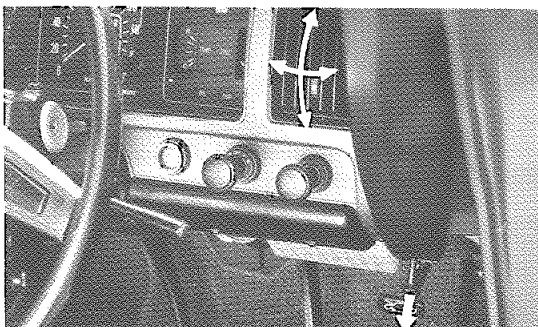
車内を暖めながら換気する操作



強制ベンチレーション〈夏期のベンチレーション〉



■ベンチレーター

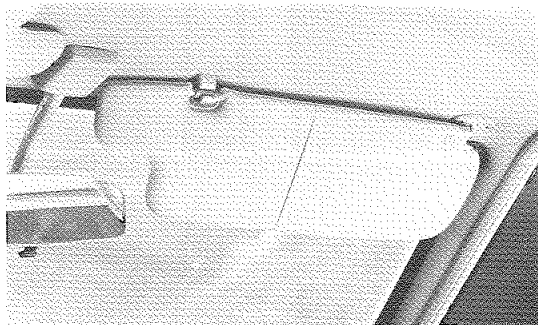


車内の空気を入れかえたいときノブを引いて使用します。

ベンチレーターから新鮮な空気が流れます。

また、中央部のルーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

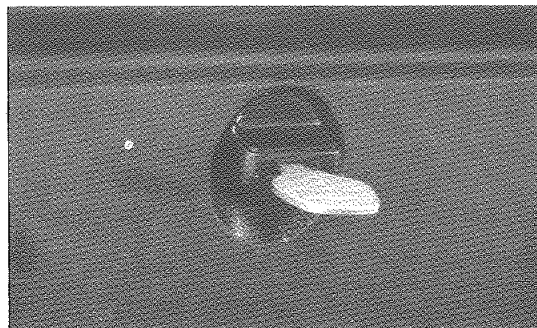
■サン・バイザー



中央部のロックをはずすと、横にまわすことができます。

グローブボックスについて

■グローブ・ボックスを使うときは



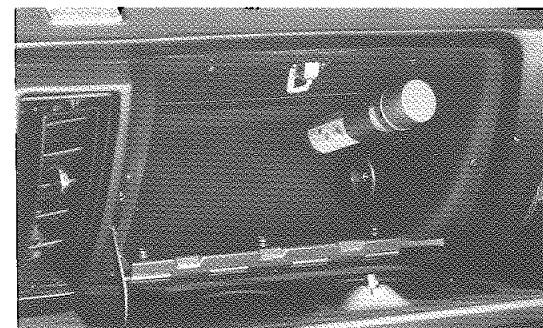
キーで解錠してつまみを左にまわします。〈デラックス車〉また、ライト・コントロール・スイッチがONのときにふたをひらくとボックス内右横のマップ・ランプがつきます。

〈注意〉

グローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーでおこないます。

保安炎筒について

■保安炎筒を使うときは



非常事態が発生したときに使用します。使用法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万一来備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。ラベルに明示されていますので確認しておきましょう。

発炎時間は5分間です。

〈注意〉

非常信号用としてのみ、ご使用ください。

使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。

取扱いには充分注意してください。